

# 韓流メディア文化の現在

作家 和佐田 道子

城西短期大学ビジネス総合学科教授 長谷川 啓

ブームを超えて、今やすっかり定着した韓流メディア文化は、最近いっそう活況を呈しています。映画はもとより韓国ドラマは、もはや視聴者は中高年女性ばかりでなく、老若男女へと広がり、歴史ものなどは高齢者男性のたのしみともなっています。毎週月曜日から金曜日まで、毎日13本くらいのドラマが放映されているほどです。このブームの何よりの意義は、日韓関係の厚い壁を越境し、アジアの文化を見直す契機となり、これまでの欧米一辺倒だった日本近代の再考を促したことでしょう。韓流の映像文化自体も、ドラマにみるフェミニズム／ジェンダーの視点も、日本に先んじているといっても過言ではありません。本講座では、冬ソナ以降の人気ドラマについて、「太王四神記」他多くの韓流映像作品を日本語に小説化したり、韓流メディア文化を研究する講師の方々に熱く語っていただきます。

① 6/2 水

13:30

「太王四神記」の世界～韓国ドラマの感性とペ・ヨンジュン (和佐田道子)

② 6/9 水

15:00

ジェンダーで読む 韓流ドラマの女性像と男性像  
～「チャングムの誓い」「ファン・ジニ」「私の名前はキム・サムスン」「宮」他 (長谷川啓)

## 講座概要

■ 受講料 4,000 円

■ 回数 講義 2 回

■ 定員 30 名 (申込順)

## Profile



和佐田 道子

作家。千葉大学大学院文学研究科修士課程修了。著書に『ファースト・キス』『英語完全征服』『パパ』『風の伝説』(竹書房)、『あなたを忘れない』(幻冬舎)、『太王四神記公式ノベライズ』(講談社)、編訳書に『B型の彼氏』『トンマッコルへようこそ』(角川書店)、共著に『太王四神記 公式予習BOOK』(講談社)など。



長谷川 啓

城西短期大学ビジネス総合学科教授。日本の近現代女性文学を研究。法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻修了。著書『佐多稲子論』(オリジン出版センター)。共編著『買春と日本文学』『女たちの戦争責任』『ジェンダーで読む 愛・性・家族』『老いの愉楽』(東京堂出版)、『韓流サブカルチャーと女性』(至文堂)。共監修『[新編] 日本女性文学全集』(葺柿堂)他。



日本女子大学生涯学習センター (目白キャンパス 百年館高層棟 4F)

お問合せ・資料請求 (無料送付) **03-5981-3755** (直通)

WEB から資料請求 (送料無料)・講座申込ができます。

<http://www.LLC.jwu.ac.jp/> FAX 03-5981-3756